

# 令和元年度後期学校関係者評価書

南アルプス市立小中一貫校八田小中学校

南アルプス市立八田小学校

南アルプス市立八田中学校

## 第2回学校関係者評価委員会

日時：令和2年1月16日（木）19：00～20：30

場所：八田ふれあい情報館小会議室

### <学校関係者評価委員>

井上 孝雄（学識経験者，元小学校長） ※学校関係者評価委員長

鈴木 正一（学識経験者，元中学校長）

穴水 史彦（令和元年度八田小学校PTA会長）

清水 一徳（令和元年度八田小学校PTA副会長）

清水絵美子（令和元年度八田小学校PTA副会長）

湯沢 信（令和元年度八田中学校PTA会長）

内藤 美佳（令和元年度八田中学校PTA副会長）

小澤 昌史（令和元年度八田中学校PTA副会長）

戸澤 美咲（令和元年度八田中学校PTA副会長）

神宮寺静徳（八田小学校後援会長）

## 1. 教職員の自己評価

### （1）学校経営について

○小中一貫教育としての実績・成果が保護者にとっては、よくわからないところがある。もう少し保護者への成果報告（アピール）があってもよいのではないか。

○小中とも高い評価が得られている。

### （2）教育課程・学習指導について

○生徒個々の特徴，個々の差などに対しての対応に苦労しているようだが，きめ細かい対応をしてくださっているのがありがたい。

○英語の授業などで小中の連携がもっと取れると良い。

### （3）生徒指導について

○いじめについては，小中一貫の強みを生かして，小学校の時はどうだったか，担任など関わりのあった先生から情報を得るとよい。

○不登校については，保育園・小学校・中学校と固定した人間関係ができてしまっていることが一因になっていると考えられる。そういう視点からのカウンセリングも必要である。

○スマホを持っていないとSNSができず，仲間に入れてもらえないという意識が働

き、親が子供にスマホを買い与えている実態がある。しかし、小4で動画サイト（ティック・トック）に投稿したり，ユーチューブは本来13歳からの視聴なのだが，それよりもはるかに低年齢で視聴したりしている。最近では，保育士の立場から話をすると，小学校就学前の保護者にとっては，スマホのハードルはもっと低く，ユーチューブで保育を行っている保護者（子育てスマホ）も多数いる。

- ゲーム依存症は病気であり，ゲーム依存症による生活の乱れが不登校へつながることが多い。スマホを安全に使うための学習会，乱用防止講話を小学校の低学年から行う必要がある。
- スマホの利用に関する家庭でのルール作りが必要である。しかも，学校・地域・保護者が一斉に取り組まなければ大きな成果が出ない。
- 先生方が生徒とのコミュニケーションを大事にしているのでとても良い。
- 生徒指導については概ね高い評価が得られている。

#### （4）特色ある開かれた学校について

- まだまだ地域交流などが活発でないようなので，今後の取り組み（地元の物づくり，体験教室など）に期待したい。
- 概ね，良い評価が得られている。

### 2. 児童・生徒アンケートから

- 小学校と中学校の評価に差があるが，自我が出てくる中学校との差は仕方ないかと思う。
- 小学校の方が中学校より評価が高いが，これは中学生の方が自分の評価を厳しく行うからと言える。
- 家庭学習や読書については各家庭においてしっかりした取り組みが必要である。
- 評価の低いデータの項目は，スマホやゲーム依存が影響している。やりすぎはいけないことを学校でも言っていく必要がある。
- 高校でも不登校の原因としてゲームが挙げられている。高校によっては，Eスポーツ部が作られているところもある。しかし，これはあくまでゲームであり，スポーツとしてみなすことに違和感がある。

### 3. 保護者アンケートから

- 家庭学習をしている割合が低いのが気になる。家で学習する気にさせるコツなどを保護者に伝えるとよい。
- 中学校の保護者アンケートの方が，いくつかの項目でD「そう思わない」という回答があるが，これも，子どもの思春期との関係が影響しているのではないかと思う。

### 4. 成果と課題（今後取り組むべき点，継続するべき点について）

- 家庭で学習習慣をつけさせる方法を考えていくのが課題。そのために教員・保護者間のコミュニケーションをもっと密にする必要がある。
- 小中一貫の良さを生かし、小中の連携などをさらに進めていただければと思う。

## 5. その他

- 小中一貫校であることについて、保育所・幼稚園等へアナウンスをしていくとよい。みだい幼稚園卒園児で、六科地区から八田小学校へ入学する児童は来年度1名だけであり、その保護者の大半の方が、小中一貫校であることを知らない。知っていれば八田小学校へ入学する児童が増えるのではないだろうか。
- 今の小学校6年生が中学校1年生になった時、子供も親も八田中でよかったなと思えるようなら、小中一貫校が成功したと言える。小中一貫校のメリットは、中1ギャップの解消にある。
- 他の地域からは、八田地区は、保・小・中のつながりが強く、うらやましがられている良い面がある。
- 先生方が子供たちのために尽力されていることが伝わってきた。